

報道関係者各位

No.-61124

2013年6月19日
株式会社東陽テクニカ**東陽テクニカ、INTEROP TOKYO 2013 で世界初の OpenFlow 1.3 相互接続デモを実施**

～スパイレント社製品を用いて複数 OpenFlow スイッチのプロトコル正常性やトラフィック転送性能を確認～

株式会社東陽テクニカ(本社: 東京都中央区、代表取締役社長 五味 勝、以下「東陽テクニカ」)は、6月14日まで幕張メッセで開催された「INTEROP TOKYO 2013」において、世界初となる OpenFlow 1.3 の相互接続試験およびライブデモンストレーションを行いました。

SDN(Software Defined Network)はサーバやアプリケーション側でネットワークを集中管理・変更でき、大規模なデータセンターやキャリアネットワークなどでメリットが大きいと期待されています。OpenFlow はこの SDN を実現する中核技術であり、多くの機器メーカーが対応を表明しています。

しかし現在ほとんどの機器での実装は OpenFlow の初期バージョンである 1.0 にとどまっており、より多機能でかつ安定したバージョンである 1.3 への対応と相互接続事例が望まれていました。

今回の相互接続試験では、東陽テクニカが総代理店となっている米国スパイレント・コミュニケーションズ社(以下「スパイレント社」)の次世代 IP パフォーマンステスタ “Spirent TestCenter” が OpenFlow コントローラを擬似し、相互接続試験参加社が提供した複数の OpenFlow スイッチへの接続を行いました。試験においては “Spirent TestCenter” が持つ優れた解析機能によって、バージョン 1.3 動作時の OpenFlow コントローラ～スイッチ間のプロトコル正常性と、エンド-エンドでのトラフィック転送動作やパフォーマンスが確認できました。また、会期中は ShowNet 展示コーナーにおいて、相互接続のライブデモンストレーションを来場者向けに実施しました。

なお相互接続試験とライブデモンストレーション内容は沢山の方々からの評価をいただき、INTEROP TOKYO 2013 | Best of Show Award の ShowNet 連携デモ部門においてグランプリを受賞しました。

ShowNet NOC チームメンバー 齋藤 修一様よりいただきましたコメント

「INTEROP TOKYO 2013 では、OpenFlow 1.3 での相互接続試験や SDN を用いた出展社へのネットワーク接続提供など、SDN に対する様々な取り組みを実施いたしました。東陽テクニカ様には長年に渡り ShowNet への参加・協力を続けて頂いております。今年は連年の ShowNet の正常性確認や性能確認用測定器に加えて国内初の OpenFlow 1.3 相互接続試験とその接続環境による世界初のライブデモンストレーションに対し、スパイレント社からの最新測定器の提供と、東陽テクニカ様の優れたエンジニアチームによる技術サポートを通して、大きく貢献いただきました。東陽テクニカ 中村様、河田様には、昼夜を問わず、相互接続試験ならびに ShowNet 全体のパフォーマンスチェックにご協力頂き大変助かりました。ShowNet NOC チームとしても今回の相互接続試験を機に、国内外での SDN/OpenFlow の導入が加速していくと期待しています。」

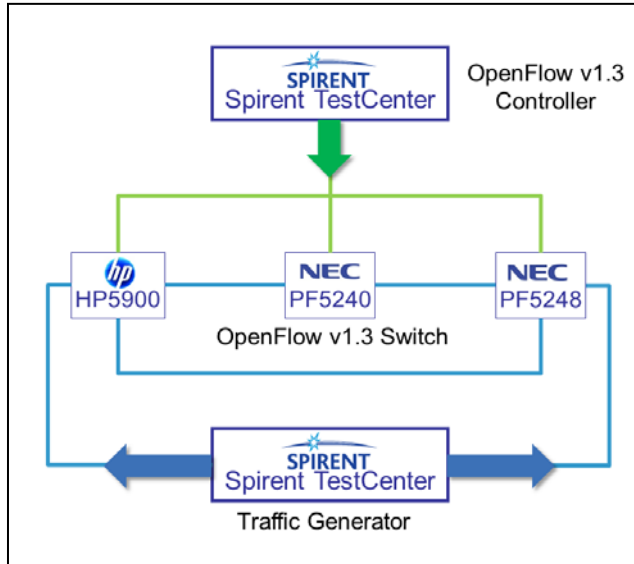
東陽テクニカは今後もこのような先端技術に対する取り組みをサポートし、日本の情報通信ネットワークの大容量化、高機能化および高品質化に貢献していきます。

■関連 URL

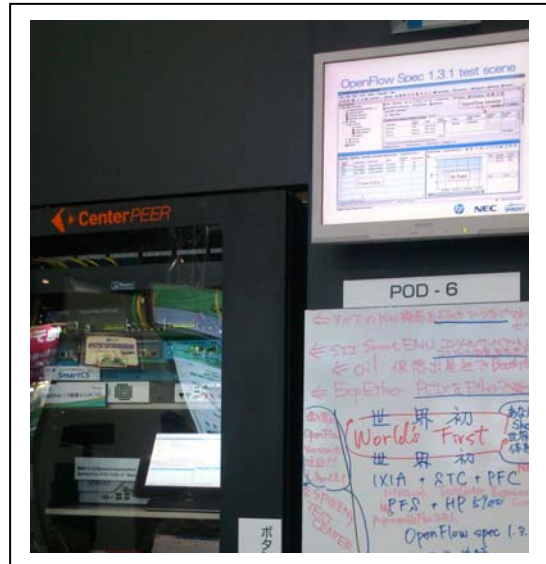
東陽テクニカ INTEROP TOKYO 2013 出展のご案内

<http://www.toyo.co.jp/page.jsp?id=18824>

■OpenFlow 1.3 相互接続試験構成



■ライブデモンストレーション写真



[米国スパイレント・コミュニケーションズ社 (Spirent Communications)について]

スパイレント社は、研究開発ラボや通信事業者、通信機器製造会社、一般企業のIT部門などで使用されるテスト機器の製造販売やコンサルティングサービスを行う業界のリーダ企業です。同社のソリューションによって 10/40/100G イーサなどの有線から無線/衛星通信に至るまで、あらゆるお客様の QoE(Quality of Experience)を高めることができます。東陽テクニカは同社の日本国内における総代理店です。

[株式会社東陽テクニカについて]

東陽テクニカは昭和 28 年の設立より「技術と情報」をキーワードに、最先端の「測るツール」を主として欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の技術発展に寄与することを使命として、日本の研究者・開発者に提供してきました。「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー・トレーニングなどの取組みは、400 人を超える全従業員の 8 割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。東陽テクニカに関する詳細は、<http://www.toyo.co.jp> をご覧ください。

スパイレント社製品に関するお問合せは下記までお願いします。

株式会社 東陽テクニカ 情報通信システム営業部

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail: spirent-web@toyo.co.jp

また、当社に関するご質問は下記までお願いします。

株式会社 東陽テクニカ経営企画室

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail: kikaku@toyo.co.jp

* 記載されている会社名、製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。

* 記載の商品名、価格及び担当部署、担当者、Web サイトの URL などは、本リリース発表時点のものです。